厚生労働大臣が定める揭示事項

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行に関する事項

当院では、医療の透明化や患者様への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しています。

また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行しています。会計窓口にてその旨お申し付けください。

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されているものですので、その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合など、その代理の方への発行もふくめて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にお申し出ください。

マイナ保険証によるオンライン資格確認について（医療DX推進体制）

当院は、オンライン資格確認等システムを導入しています。

医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでおります。

後発医薬品の使用促進・医薬品の変更に関するご案内

「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」とは、「新薬（先発医薬品）」の特許が切れた後に製造される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、同一の効能・効果を持つ医薬品のことです。当院では、後発医薬品の品質、安全性、安定供給体制等の情報を収集・評価した上で、後発医薬品を積極的に使用しております。また、外来院外処方について、「一般名処方」を推進しています。一般名処方により、有効成分が同一の医薬品が複数あった場合は、先発医薬品若しくは後発医薬品を患者様ご自身で選択でき、経済的負担も軽減することができます。（院外処方せんに「【般】」と表示しています）

しかし、一部の後発医薬品について供給不足が生じております。当院が採用している医薬品の供給不足が発生した場合、治療計画を見直したり、他の医薬品に変更する可能性があります。医薬品を変更する場合は、変更内容について十分ご説明いたします。

長期収載品に係る選定療養費に関する事項

令和6年10月からの医薬品の自己負担の新たな仕組みとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）があるお薬で、先発医薬品の処方を患者様が希望される場合は、その薬価差額の4分の1を特別の料金としてお支払いいただく制度が導入されました。この機会に、後発医薬品の積極的な利用をお願いいたします。

保険外負担に関する事項

当院では、療養の給付と直接関係のないサービス等に係る費用等について、その利用日数、枚数等に応じた実費のご負担をお願いしております。

- (1) 日常生活のサービスに係る費用
- (2) 公的保険給付とは関係のない文書の発行に係る費用

- (3) 自費診療に係る費用(保険外負担・任意の予防接種料)
- (4) 診療記録等の写しの交付に要する費用 等